

標記の件に関しまして、東亜建設工業(株)が4月28日付の指示書に基づき実施した内部調査の結果、本日、新たに「東京国際空港H誘導路東側他地盤改良工事」に関して施工不良が判明したとの報告がありました。

(別添－1、2)

※ なお、本施工不良による誘導路の対象箇所については、通常運用において、構造上問題ないことを確認しておりますが、念のため、各施設の安全性については監視していく予定です。

- ・受注者: 東亜・大本JV(特定建設工事共同企業体)
- ・工期: 平成26年1月31日～平成27年3月20日
- ・請負金額: 約12億7千万円

● : 施工不良の箇所

地盤改良工法: 薬液注入工法

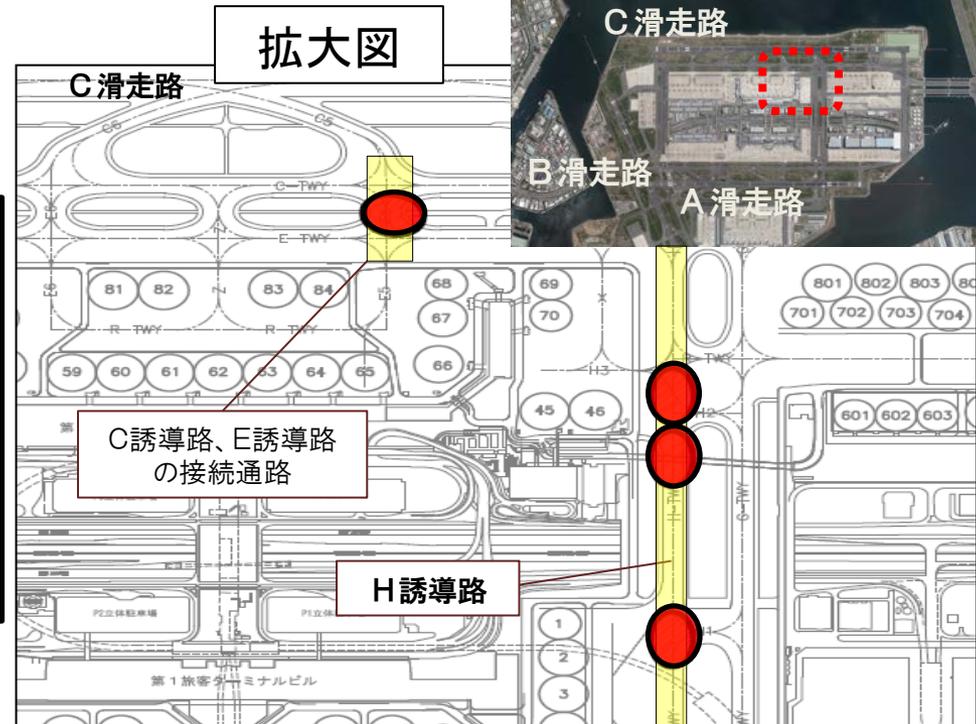
改良面積: 約1万m²

削孔方法: 削孔機による鉛直又は斜め削孔

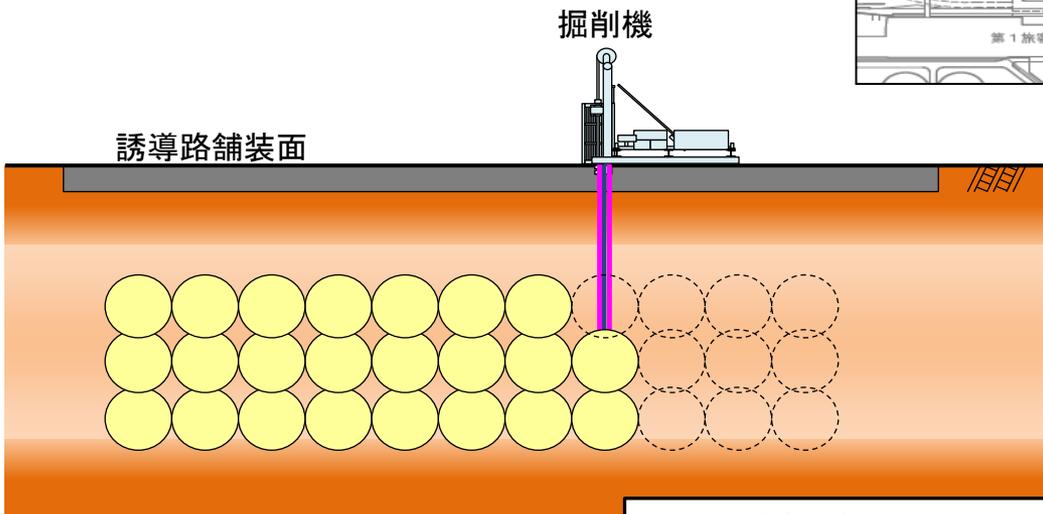
削孔本数: 1,450本

改良体総数: 4,637個

薬液注入量: 約4,632キロリットル



掘削状況の例



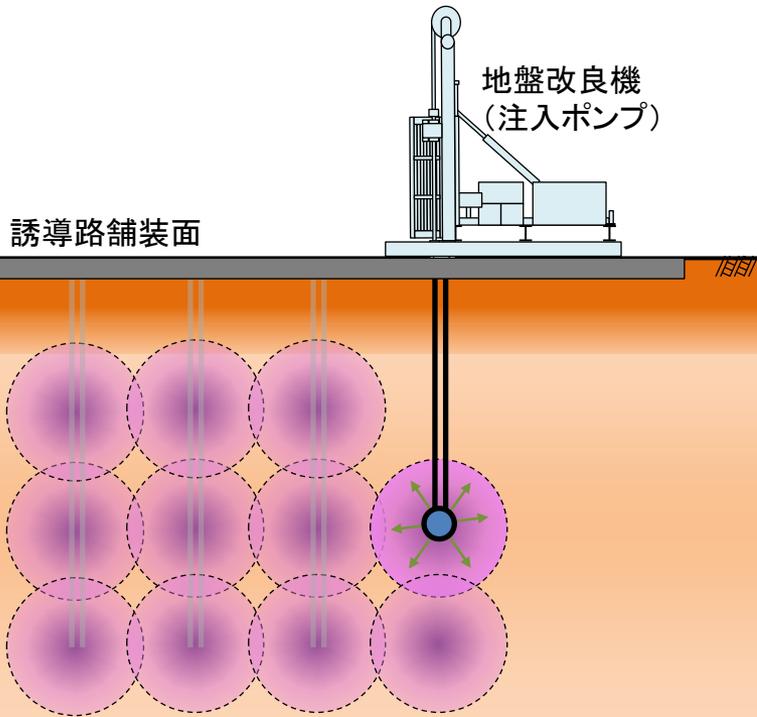
(注) 誘導路とは、航空機が駐機場と滑走路との間を移動するために設けられた通路のこと

報告を受けた事項の概要

■原因

注入した薬液の逆流などの不具合の発生により、契約図書に基づく薬液量の注入ができなかった。

契約図書に基づく改良体の例



契約図書に基づき施工された改良体
(直径1.86m)

施工不良イメージ(薬液注入不足)

